冷媒について

この冷蔵庫は、地球温暖化への影響が極めて少ないノンフロン冷媒（R600a）を採用しています。
ノンフロン冷媒（R600a）は天然ガスの一種で可燃性ですが、冷媒回路に密閉されていますので、通常はもれ出すことはありません。

※従来の冷媒に使用しているフロン（R134a）は地球温暖化係数が大きいものの、日本では家電リサイクル法に基づき、冷蔵庫リサイクル処理時 に全台数の冷媒を回収して、地球温暖化への影響を防いでいます。

廃棄時にご注意ください

- 2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄する場合、収集·運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

★長年ご使用の『冷蔵庫』の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深いキズや変形がある
- 焦げくさい臭いがする
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている
- 冷蔵庫に触れるとビリビリと電気を感じる
- その他異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

お客様メモ（後日のために、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	JR-N106E
販売店名	☎（　　）　ー		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　ー		

ハイアールジャパンセールス株式会社　〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー7F

12.10

Haier　ノンフロン冷凍冷蔵庫　取扱説明書

Haier
〈ハイアール〉

保証書別添

- このたびは、お買上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「保証書」とともに大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

取扱説明書

ハイアール
ノンフロン冷凍冷蔵庫 家庭用

品番 JR-N106E

もくじ

- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意

※ご使用になる前に、この『**安全上のご注意**』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

表示について

ここに表示している『**安全上のご注意**』は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

『**警告**』『**注意**』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示。
	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性、または物的損害が発生すると想定される内容を表示。

■表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。

△記号は、「警告や注意を促す」内容のものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）を示します。

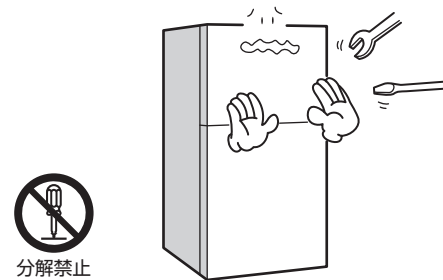
⊘記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示します。

●記号は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）を示します。

⚠警告

改造は絶対しない　また、修理技術者以外の人が分解したり修理しない

- 火災・感電・ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店または、メーカー指定のお客様修理ご相談窓口にご相談ください。

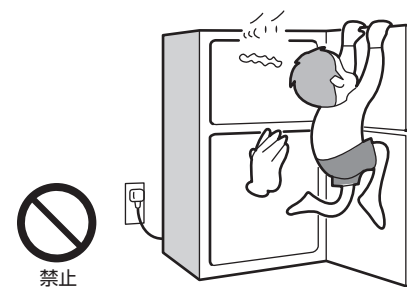
分解禁止

引火しやすいものは、入れない

- 接着剤・エーテル・ベンジン・アルコール・LPガス・薬品などの揮発性、引火性のあるものは貯蔵しないでください。爆発する危険性があります。

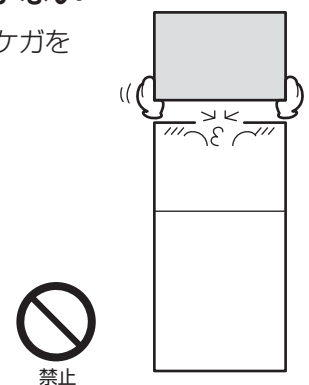
引火物禁止

ドアにぶら下がったり、乗ったりしない

- 冷蔵庫が倒れたり、ドアがはずれたり、手をはさんだりしてケガをする原因になります。

禁止

上に重いものを置かない

- ドアの開閉で落下し、ケガをする原因になります。

禁止

⚠警告

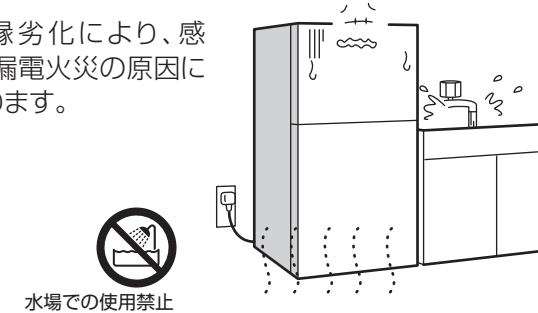
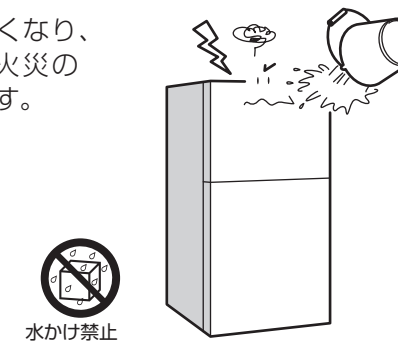
湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

- 絶縁劣化により、感電・漏電火災の原因になります。

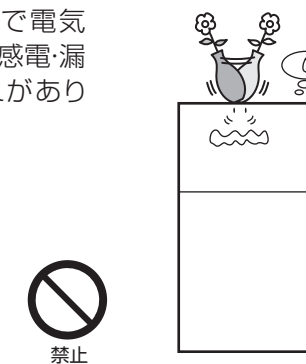
水場での使用禁止

本体や庫内に水をかけない

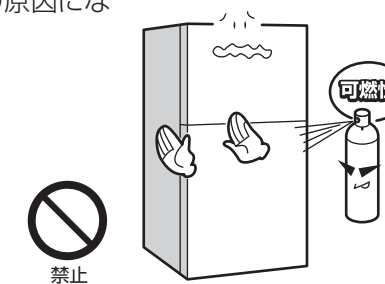
- 電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災のおそれがあります。

水かけ禁止

上に水など液体の入った容器を置かない

- こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電火災のおそれがあります。

禁止

可燃性スプレーを近くで使わない

- 引火して、火災の原因になります。

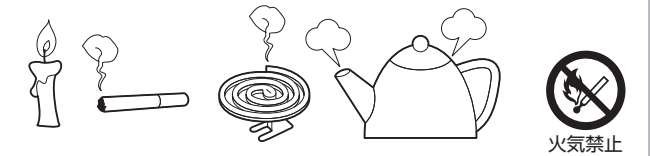
禁止

アースを確実におこなう

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

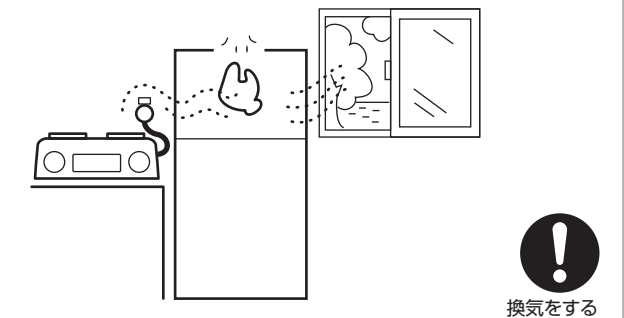
アース

火気を近付けない

- 火気を近付けたり、火のついたロウソク・たばこ・蚊取り線香・熱いヤカンなどを置かないでください。火災や変形の原因になります。

火気禁止

ガス漏れがあったときには、冷蔵庫やコンセントには手を触れず、窓を開けてよく換気をする

- 引火爆発し、火災・やけどの原因になります。

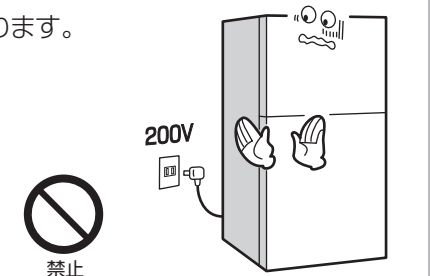
換気をする

定格15A以上のコンセントを単独で使用する

- 他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で

交流100V以外では、使用しない

- 火災の原因になります。

禁止

電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない

- 電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

⚠警告

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く　また濡れた手で抜き差ししない

●感電やケガをするおそれがあります。

プラグを抜く　ぬれ手禁止

電源プラグを本体で押し付けない

●傷つき、過熱・火災の原因になります。

禁止

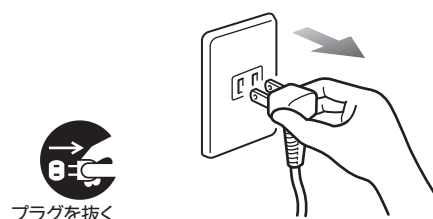
電源プラグが下向きになるように差し込む

●逆に差し込むと、コードに無理がかかり、感電・発火の原因になります。

指示

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

●絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く

●火災の原因になります。

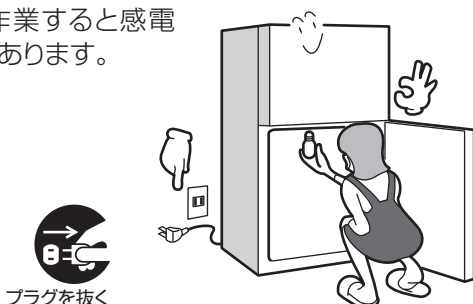
ホコリを取り除く

庫内灯は指定のものを使う

●指定以外のものを使うと、火災の原因になります。

指示

庫内灯を交換するときは、交換する前に電源プラグをコンセントから抜く

●抜かずに作業すると感電することがあります。

プラグを抜く

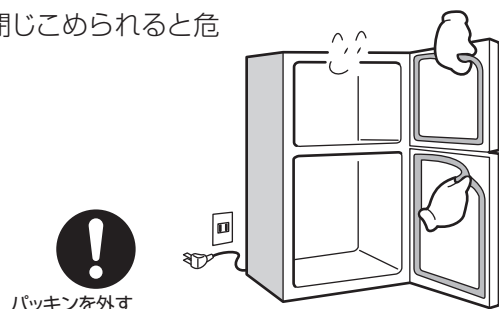
廃棄処分するときは、ドアパッキンを外す　また、幼児が遊ぶ場所に放置しない

●幼児が閉じこめられると危険です。

パッキンを外す

地震などによる転倒防止の処置をする

●振動により冷蔵庫が転倒し、ケガの原因になります。

指示

異常時（こげ・臭い等）は、運転を中止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口にご相談ください

●異常のまま運転を続けると、故障・感電・火災の原因になります。

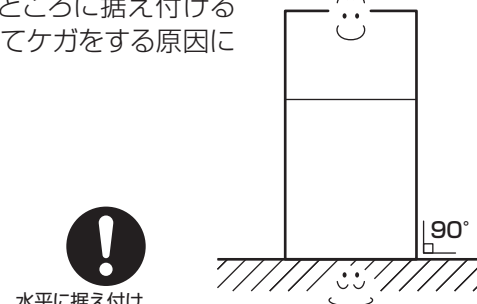
プラグを持つ

⚠注意

床が丈夫で水平なところに据え付ける

●不安定なところに据え付けると、転倒してケガをする原因になります。

水平に据え付け

90°

冷凍室にビン類を入れない

●中身が凍って割れ、ケガをする原因になります。

貯蔵禁止

ボトルポケット以外に、不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない

●ドアの開閉で落下し、ケガの原因になります。

禁止

におったり、変色した食品は食べない

●食中毒や病気の原因になることがあります。

腐敗食品飲食禁止

冷凍室内の食品や容器（特に金属製のもの）を、濡れた手で触れない

●低温のため、凍傷になるおそれがあります。

接触禁止

冷蔵庫の底面に手を入れない

●鉄板などで、ケガをする原因になります。

禁止

食品は棚より前に出さない

●ビン類などが引っかかって落下し、ケガをする原因になります。

禁止

医薬品や学術資料などは入れない

●家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

貯蔵禁止

電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まない

●電源プラグを抜いたときやブレーカーが切れたときは、5分以上待ってから差し込んでください。すぐに差し込むと圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

5分以上待つ

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

●絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

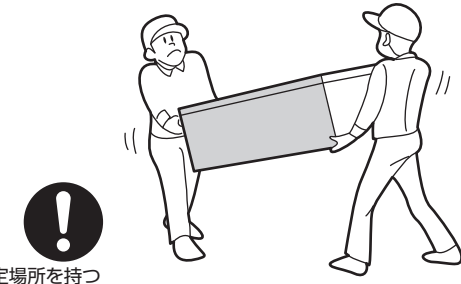
電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く

●コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

プラグを持つ

冷蔵庫を運搬するときは、背面上部と下部前脚を持って運搬する

●他のところを持つと、手が滑ってケガの原因になります。

指定場所を持つ

背面下部の機械部分（圧縮機など）に、手を触れない

●運転中・停止直後は高温のため、やけどのおそれがあります。

接触禁止

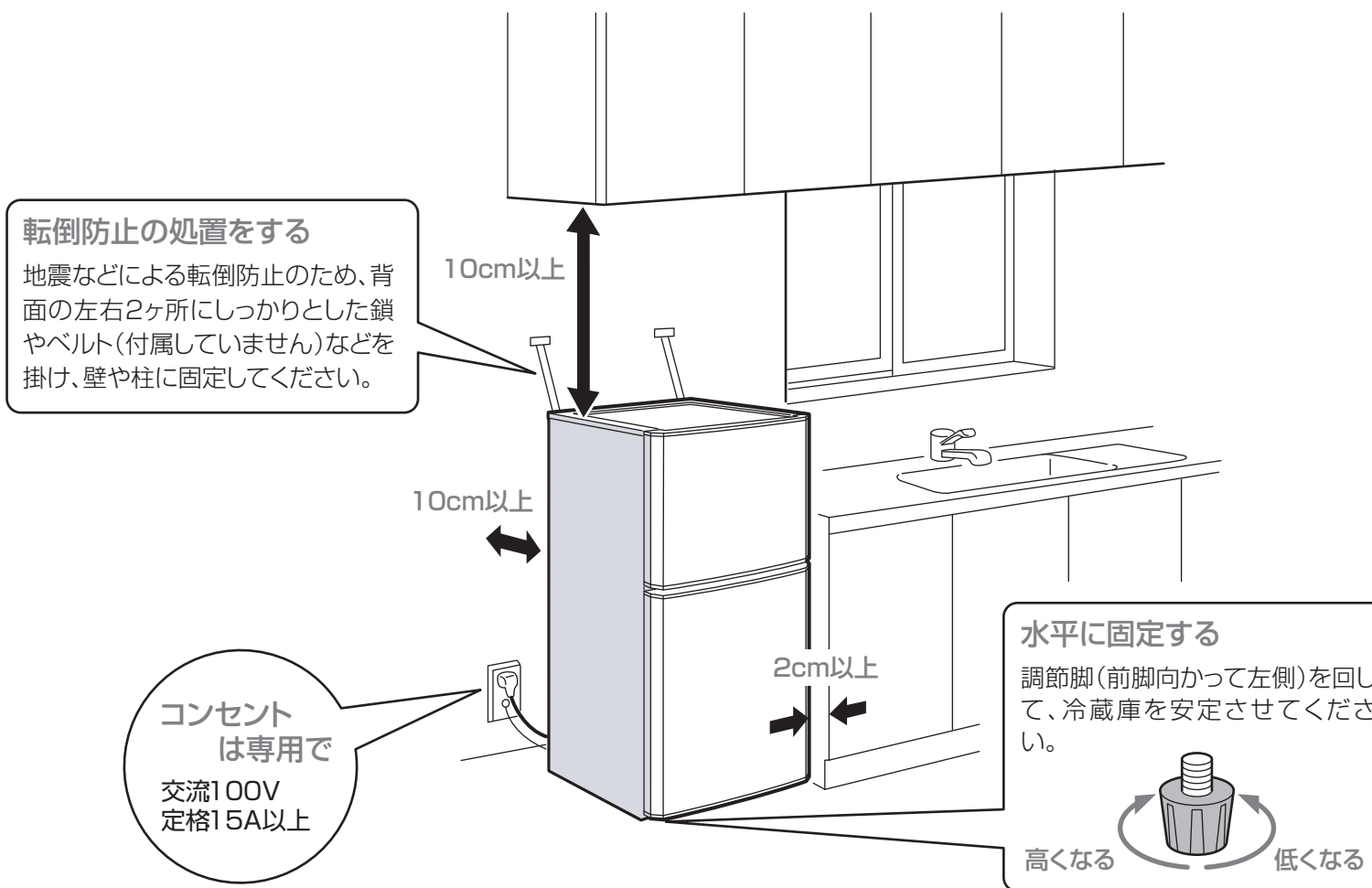
据え付け

据え付けについて

据え付け場所

● **床が丈夫で水平なところ**
じゅうたん・畳・塩化ビニール製の床材は、冷蔵庫底面の熱により変色することがありますので下に丈夫な板を敷いてください。

● **熱気・湿気の少ないところ**
直射日光が当たるところ、発熱器具(コンロ・ストーブなど)の近くは冷却力が低下します。

● **周囲にすき間をあける**
図のように冷蔵庫の周囲にすき間をあけて、放熱を良くしてください。放熱が悪いと冷却力が低下し、電気代のムダ等、非効率的です。

⚠警告

電源プラグを本体で押し付けない
● 傷つき、過熱・火災の原因になります。

禁止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない
● 絶縁劣化により、感電・漏電火災の原因になります。

水場での使用禁止

地震などによる転倒防止の処置をする
● 振動により冷蔵庫が転倒し、ケガの原因になります。

指示

⚠注意

床が丈夫で水平なところに据え付ける
● 不安定なところに据え付けると、転倒してケガをする原因になります。

水平に据え付け

アースについて

次の場所で使うときは、必ずアースおよび漏電しゃ断器を取り付けてください。

- 地下室などの湿気の多いところ
- 土間やコンクリートの床など湿気の多いところ
- 洗い場など、水のかかりやすいところ

漏電しゃ断器について

水気の多いところに据え付ける場合は、アースの他に漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告

湿気の多いところや水気のあるところで使う場合は、アースおよび漏電しゃ断器を取り付ける
● 故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

アース

■ **コンセントにアース端子がないとき**
● お買上げの販売店に、アース工事(有料)を依頼してください。アース工事(D種接地工事)は電気工事士の資格が必要です。

■ **コンセントにアース端子があるとき**
● アースの先端を確実にアース端子に接続してください。

次のところにはアース線を接続しないでください。

- **ガス管**……爆発や引火の危険性があります。
- **水道管**……プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- **避雷針・電話のアース線**……落雷のときに大電流が流れ危険です。

移動・運搬するとき、転居のときは

1 食品を取り出す

2 電源プラグを抜く

3 2人以上で運搬する

● 冷蔵庫背面の蒸発皿に水が残っていると、移動・運搬するときに水がこぼれることがあります。通路に保護シート等を敷いてから行うことをおすすめします。

転居のとき

● 横積みは絶対にしないでください。
圧縮機故障の原因になります。

● 50/60Hz共用ですので周波数の切換えは不要です。

⚠注意

電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まない
● 電源プラグを抜いたときやブレーカーが切れたときは、5分以上待ってから差し込んでください。すぐに差し込むと圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

5分以上待つ

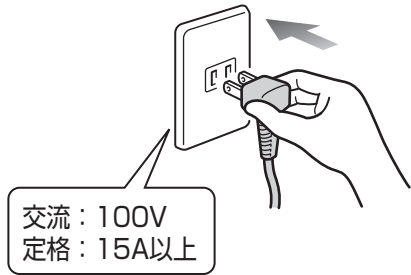
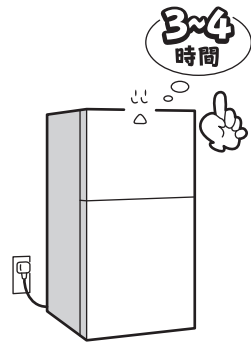
冷蔵庫を運搬するときは、背面上部と下部前脚を持って運搬する
● 他のところを持つと、手が滑ってケガをする原因になります。

指定場所を持つ

ご使用の前に

使いはじめに

1 庫内を拭く

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 約3～4時間運転し、庫内が冷えてから食品を入れる

お知らせ

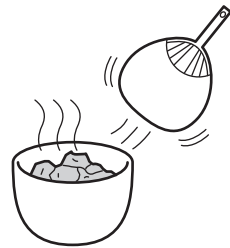
- 使いはじめは構造材（プラスチックなど）のにおいがしますが、ご使用するにしたがい消えます。
- 放熱パイプを内蔵し露つきを防止しているため、本体の表面が熱くなることがあります。特に使いはじめや夏場は熱くなりますが異常ではありません。
- この冷蔵庫の霜取り操作は不要です。冷却器（背面内部）についた霜は自動的に溶かし、背面の蒸発皿にためて蒸発させます。JIS（日本工業規格）では、霜取り時および霜取り終了時の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇は5℃以下と規定されています。

食品の入れかた

ふく

- ビン・缶類などは拭いてから入れてください。意外と汚れています。

さます

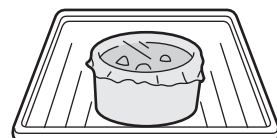
- 熱いものは冷ましてから入れてください。そのまま入れると庫内の温度が上がります。

つつむ

- ラップなどで包むか、密閉容器に入れてください。食品のにおい移りや乾燥を防ぐことができます。

棚の手前に

- 水分の多い食品（とうふ・野菜など）を冷蔵室の奥に置くと凍ることがあります。

すき間をあける

- 詰めすぎると冷気の循環が悪くなります。

冷蔵室で保存するのに向かないもの

- 長期間冷やすと変質するバナナなどのトロピカルフルーツは食べる直前に冷やしてください。また、大根やイモなども同様です。

冷凍室で保存するのに向かないもの

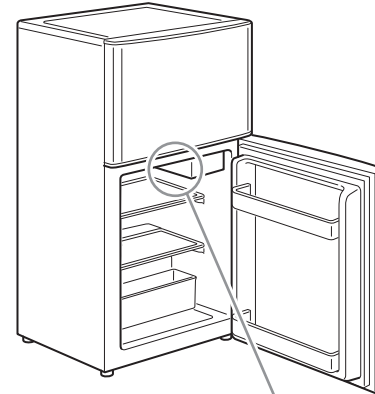
- 卵…生卵は殻が割れ、ゆで卵は白身がかたくなります。
- 乳製品…脂肪分と水分が分離します。
- 生の野菜…ごぼう・ふきなどの水分の多いものは風味がなくなり、じゃがいも・さつまいもなどは黒く変色し腐敗します。

こんなときには

庫内灯の交換

1 電源プラグを抜く

2 冷蔵室棚（大）を外す

3 庫内灯を回して外す

⚠警告

庫内灯を交換するときは、交換する前に電源プラグをコンセントから抜く
- 抜かずに作業すると感電することがあります。

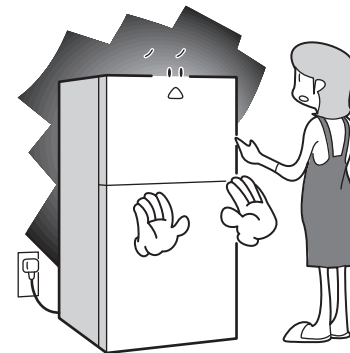
庫内灯は指定のものを使う
- 指定以外のものを使うと、火災の原因になります。

庫内灯

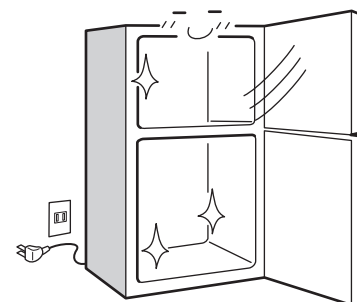
冷蔵庫用白熱ランプ
110V 10W T20 口金E12

ご購入は、形名をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。

停電したときは

- ドアの開閉を少なくするとともに、新たな食品の貯蔵はさけてください。

長期間使用しないときは

- カビやにおいを防ぐため庫内を掃除し、2～3日間ドアを開けて乾燥させてください。

電源プラグを抜いたときは

- 電源プラグを抜いたときやブレーカーが切れたときは、5分以上待ってから差し込んでください。すぐに差し込むと圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

廃棄処分するときは

- 2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄する場合、収集・運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

⚠警告

廃棄処分するときは、ドアパッキンを外すまた、幼児が遊ぶ場所に放置しない
- 幼児が閉じこめられると危険です。

各部のなまえと使いかた

冷凍室

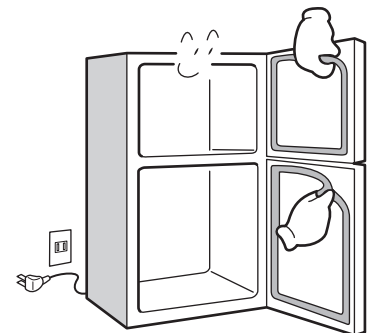
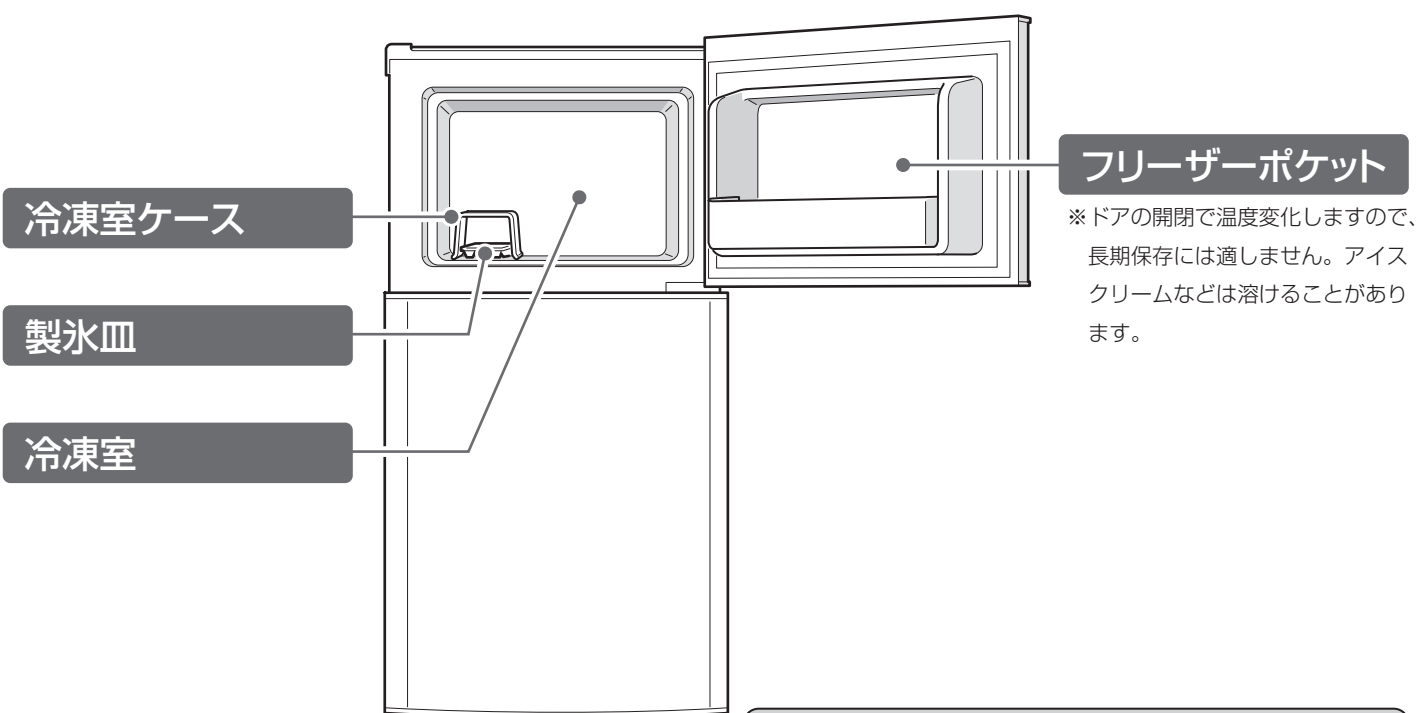
※ドアの開閉で温度変化しますので、長期保存には適しません。アイスクリームなどは溶けることがあります。

⚠警告

冷凍室にビン類を入れない

- 中身が凍って割れ、ケガをすることがあります。

ビン類の貯蔵禁止

冷凍室内の食品や容器(特に金属製のもの)を濡れた手で触れない

- 低温のため、凍傷になるおそれがあります。

接触禁止

お願い

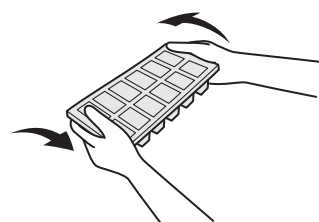
- 塩気のある食品を冷凍室内に直接入れないでください。塩分が冷凍室内を腐食させ、故障の原因になります。必ず、ラップなどで包むか密閉容器に入れてください。

製氷皿の使いかた

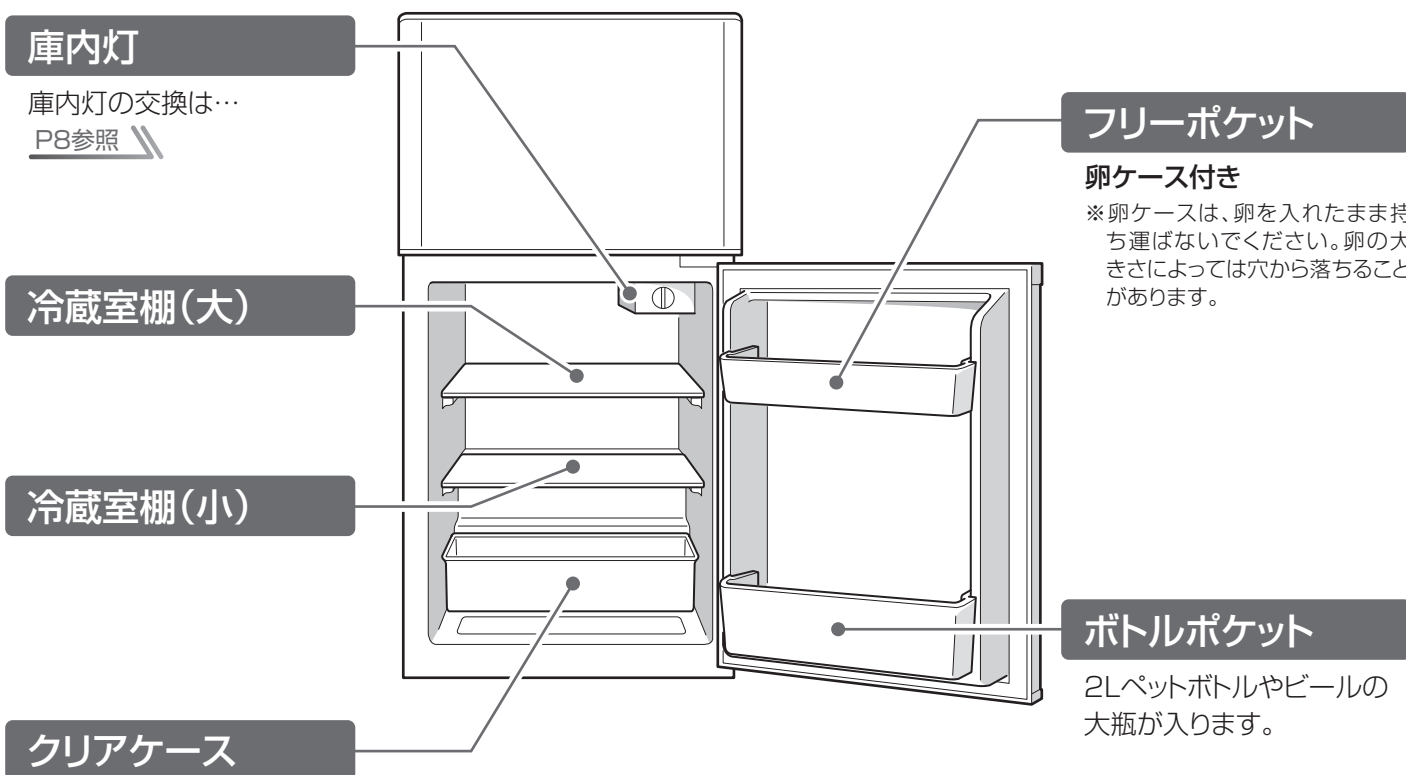
■氷を作るとき

水を入れ(8分目が目安)、冷凍室に置いてください。

■氷を外すとき

図のように製氷皿の左右をひねると氷が外れます。

お願い

- この冷凍室は製氷機ではありません。多量の製氷には使用しないでください。
- 製氷皿は図の方向には折り曲げないでください。破損するおそれがあります。

冷蔵室

⚠注意

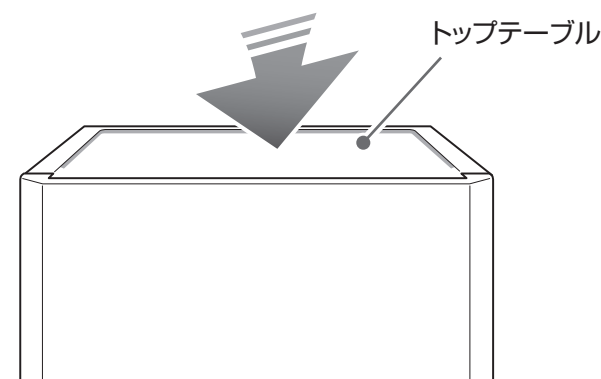
冷蔵室ドアのボトルポケット以外に、不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない

- ドアの開閉で落下し、ケガの原因になります。

禁止

食品は棚より前に出さない

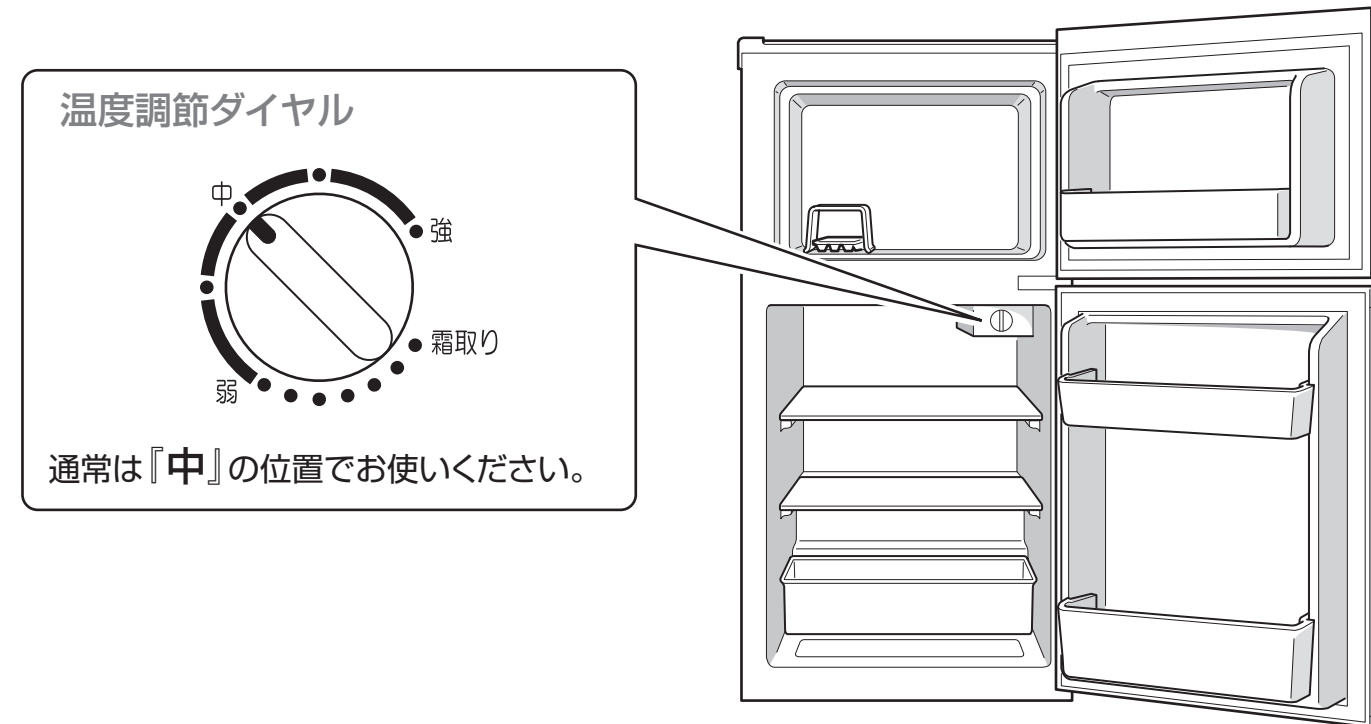
- ビン類などが引っかかって落下し、ケガをする原因になります。

禁止

お願い

- トップテーブルには重さ30kg以上のものを置かないでください。ドアの開閉で落下し、ケガの原因になります。また、温度が100℃以上になるような熱器具(オーブントースターなど)を載せないでください。表面が溶けたり変形したりします。

各部のなまえと使いかた（つづき）

温度調節

■冷凍室・冷蔵室の温度調節は、冷蔵室内の温度調節ダイヤルで同時に行います。

■ 温度調節の目安

冷却度	ダイヤル位置	冷凍室内温度	冷蔵室内温度	目　安
強冷	中〜強	『中』より2〜5℃低くなります	『中』より2〜5℃低くなります	● 強く冷やしたいとき ● 夏期など、周囲温度が高いとき
	中	約-18℃	約3〜6℃	● 通常のとき
弱冷	弱〜中	『中』より2〜5℃高くなります	『中』より2〜5℃高くなります	● あまり冷やす必要のないとき ● 冷えすぎるとき
切	霜取り	−	−	● 運転を停止するとき

● 表の温度は、周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときの目安です。
● 庫内温度はドアの開閉・外気温・据え付け場所などにより変化します。

冷蔵室の食品凍結について

■周囲の温度が5℃以下の場合
温度調節ダイヤルを弱冷側に設定してください。

■温度調節を強冷側にしている場合
温度調節ダイヤルを『中』の位置にしてください。

■水分の多い食品を棚の奥に置いた場合
水分の多い食品は、棚の手前に置いてください。また、水分の多い食品は、上部の棚に置くことをおすすめします。

お手入れ

霜取りについて

冷凍室

■ 冷凍室に霜が1cm程度ついてきたら、付属のヘラでかき落し、霜取りを行ってください。
多量の霜がついたままですと、冷却力が低下します。

1 冷凍室内の食品を取り出し、他の冷凍庫へ移す
● 他の冷凍庫がない場合は、食品を新聞紙などで包みできるだけ温度の低いところに置いてください。

2 温度調節ダイヤルを『霜取り』にし、冷凍室のドアを開放する
● 冷蔵室は、ドアの開放時間が短ければ短いほど温度が上がりにくくなります。その場合は食品を移動する必要がありませんが、開放時間が長いとき、霜取り作業時間が1時間以上かかる場合は、冷蔵室内の食品の移動をお勧めします。
● 霜を早く取りたいときは、付属のヘラでかき落としてください。

3 霜取りが終わったら、冷凍室内部やドアに付着した水滴を拭き取る
● やわらかい布で、冷凍室内、ドア、ドアパッキンについた水分を拭き取ってください。

4 庫内を冷やし、食品を入れる
● 温度調節ダイヤルを元の位置に戻し、ドアを閉めてください。冷却運転を開始します。
冷凍室内が十分冷えてから、他に移した食品を入れてください。

お願い
● 多量の霜は冷却力が低下します。定期的、早めの霜取りを行ってください。また、多量の霜の場合、溶けた水が冷凍室内で受けきれず、あふれ出ることがあります。
● ナイフなど金属製の道具を使って、冷凍室についた霜や氷を取ることは、絶対にしないでください。冷凍室に傷や穴ができ、故障の原因になります。
● 熱湯やドライヤーなどを使用して、冷凍室についた霜や氷を取ることは絶対にしないでください。冷凍室や冷却器が変形したり破れたりする場合があります。

⚠注意
温度調節ダイヤルを『霜取り』にしたときは、すぐにダイヤルを戻さない
● ダイヤルを『霜取り』にしたあと、ダイヤルを元に戻す場合は、5分以上待ってから戻してください。すぐに戻すと圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

5分以上待つ

冷蔵室

● この冷蔵室の霜取り操作は不要です。冷却器（背面内部）に付いた霜は自動的に溶かし、背面の蒸発皿にためて蒸発させます。JIS（日本工業規格）では、霜取り時および霜取り終了時の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇は5℃以下と規定されています。
● 湿度が高いとき、ドアを長く開けたときやドアをひんぱんに開閉したときに霜がつくことがあります。

お手入れ（つづき）

⚠警告

改造は絶対しない
また、修理技術者以外の人が分解したり修理しない

- 火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、メーカー指定のお客様修理ご相談窓口にご相談ください。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また濡れた手で抜き差ししない

- 感電やケガをするおそれがあります。

本体や庫内に水をかけない

- 電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く

- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

プラグを持つ

冷蔵庫の底面に手を入れない

- 鉄板などで、ケガをする原因になります。

冷凍室内の食品や容器（特に金属製のもの）を、濡れた手で触れない

- 低温のため、凍傷になるおそれがあります。

背面下部の機械部分（圧縮機など）に、手を触れない

- 運転中・停止直後は熱くなりますので、やけどのおそれがあります。

■お手入れの方法

1. 電源プラグを抜く
2. 布にぬるま湯を含ませて拭く
   - 汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませて拭き取ってください。中性洗剤を使用した後はよく水拭きをして、さらに乾いた布で拭いてください。
3. 電源コード・プラグの安全点検をする
4. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む

⚠注意

電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まない

- 電源プラグを抜いたときやブレーカーが切れたときは、5分以上待ってから差し込んでください。すぐに差し込むと圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

ご注意

- 揮発性のあるものは使わないでください。ベンジン・シンナー・アルコールなどを使用すると、変形や割れが発生することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。
- 食用油などが付いた場合は、早めに拭き取ってください。長い間放置するとプラスチックが変色したり割れることがあります。

■電源コード・プラグの安全点検

- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか?
- 電源プラグがコンセントに根本まで確実に差し込まれていますか?
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか?
- 電源プラグの刃及び刃の取付け面にホコリが付着していませんか?

普段はから拭きしてください。

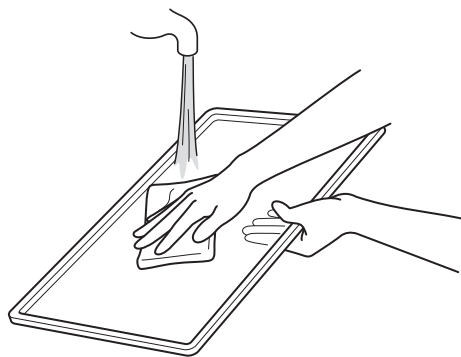
棚・ポケット類

外して水洗いします。

背面、壁

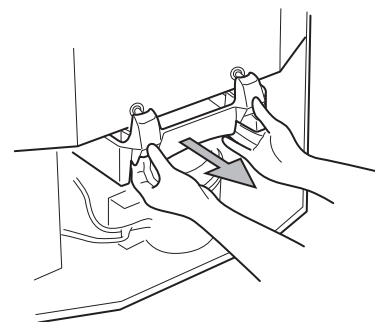
空気の対流で細かなホコリが付きやすいところです。年に一度は冷蔵庫を引き出し、汚れを拭き取ってください。

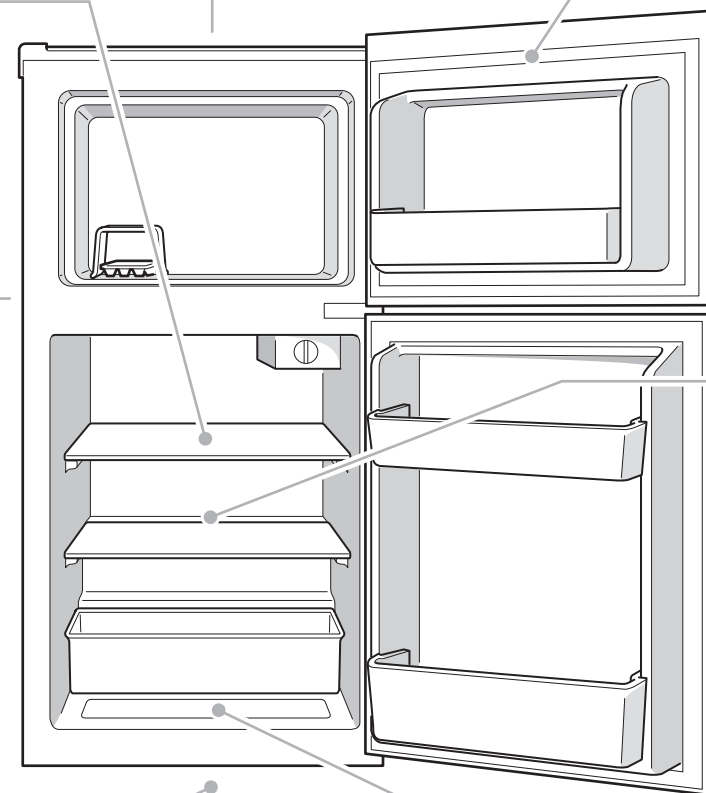
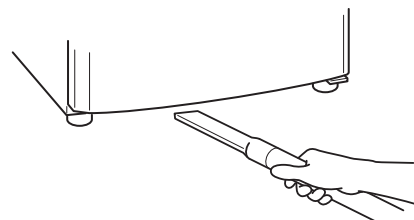
冷蔵庫の下（床）

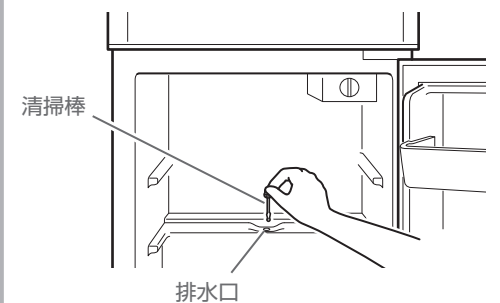
掃除機などでホコリを吸い取ってください。

1年に2回程度棚などを外してお手入れしてください。

蒸発皿（背面）

手前に引き出して外し、水洗いしてください。

圧縮機や配管に触れないようにしてください。やけどのおそれがあります。

ドアパッキン

汚れると通常より早く傷みます。本体側のパッキンの当たる場所も忘れずにお手入れしましょう。

排水口

ゴミや水アカなどは庫内の水漏れの原因になります。付属の清掃棒で取り除いてください。

汁受け

汚れや汁がたまったら拭き取ってください。

故障かな?と思ったら

以下の点をお調べになり、それでも具合の悪いときは、お買上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	おたしかめください
全く冷えない	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差込んでいますか? ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか? ● 停電ではありませんか?
あまり冷えない	● 温度調節ダイヤルを「弱冷」側にしていませんか? ● 熱いものを入れたり、ドアをひんぱんに開けていませんか? ● 食品を詰めすぎていませんか? ● 直射日光が当っていたり、近くに発熱器具(コンロ·ストーブなど)がありませんか? ● 冷蔵庫の周囲にすき間があいていますか?(周囲の風通しは良いですか?) ● ドアはきちんと閉まっていますか?
音がうるさい	● 床がしっかりと安定した場所に据え付けていますか? ● 据え付けが悪く、ガタついていませんか? ● 冷蔵庫が壁などにふれていませんか? ● 冷蔵庫の周囲に物が落ち、接していませんか? ● 使いはじめや運転開始時には、圧縮機の音が若干大きくなりますが異常ではありません。
水が漏れる	● 電源プラグはコンセントにしっかり差込んでいますか? ● ドアはきちんと閉まっていますか?
冷蔵室の食品が凍結する	● 温度調節ダイヤルを「強冷」側にしていませんか? ● 周囲の温度が5℃以下ではありませんか? ● 水分の多い食品を棚の奥に入れていませんか?
庫内に多量の霜が付くとき	● ドアをひんぱんに開けていませんか? ● ドアはきちんと閉まっていますか? ● 熱いものや水分の多いものをむき出しで入れていませんか?

下記のような場合は故障ではありませんので、ご注意ください。

水が流れるような音がする	● 冷却装置内を流れる冷媒(ガス)の音です。
ドアを開けるのが重い	● ドアを閉めた直後にすぐドアを開けようとすると、庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に庫外より低くなり、ドアが開かなかったり、重く感じることがあります。
冷蔵庫の外側に露がつく	● 梅雨時など湿気が高いとき、外側に露がつくことがあります。これは、冷水を入れたコップのまわりに水滴がつくのと同じ原理です。露は、布で拭き取ってください。
冷蔵庫の側面が熱くなる	● 露つき防止用の放熱パイプを内蔵しているためです。使いはじめや夏場は特に熱く感じることがありますが、庫内の食品には影響ありません。

仕様

品番	JR-N106E
種類	冷凍冷蔵庫
電源	100 V　50/60Hz共用
定格内容積	106L（冷凍室33L、冷蔵室73L）
電動機の定格消費電力	65/65 W（50/60Hz）
電熱装置の定格消費電力	8/8 W（50/60Hz）
年間消費電力量	270/270 kWh/年（50/60Hz）
外形寸法	480 × 556 × 995 mm （幅 × 奥行き × 高さ）
質量	33.0 kg
電源コード	1.9 m

付属品

- 製氷皿・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 冷凍室ケース・・・・・・・・・・・・1
- フリーザーポケット・・・・・・1
- 卵ケース・・・・・・・・・・・・・・・・2
- フリーポケット・・・・・・・・・・1
- ボトルポケット・・・・・・・・・・1
- 冷蔵室棚（大）・・・・・・・・・・・・1
- 冷蔵室棚（小）・・・・・・・・・・・・1
- クリアケース・・・・・・・・・・・・1
- ヘラ（霧取り用）・・・・・・・・・・・・1
- 清掃棒（排水口用）・・・・・・・・・・1

- 年間消費電力量は日本工業規格　JIS　C　9801（2006年版）に定められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
- 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

冷蔵庫の消費電力量について

年間消費電力量は日本工業規格　JIS C 9801（2006年版）で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

※1冷気自然対流方式の場合は、扉開閉は行わない。
※　その他の消費電力測定中の条件（冷気強制循環方式）の変更：より使用実態に近い状態で消費電力量を測定するため、冷蔵室および冷凍室それぞれの容積に応じた水の入ったペットボトルなどを入れたり、自動製氷機能、脱臭機能等の付加機能を作動させることにしました。

年間消費電力量測定方法　JIS C 9801（2006年版）

種類	冷凍冷蔵庫 「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷蔵室	冷凍室	冷蔵室	冷凍室
	4℃以下	-18℃以下	4℃以下	-18℃以下
扉開閉回数※1	35回/日	8回/日	35回/日	8回/日
周囲温度	30℃ および 15℃			
周囲湿度	30℃測定時:70±5%、15℃測定時:55±5%			
消費電力量の表示	年間消費電力量（kWh/年） 周囲温度30℃測定による1日当たりの消費電力量180日分と周囲温度15℃測定による1日当たりの消費電力量185日分の合計			

冷凍室の性能について

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ✳* （フォースター）です。**

冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C 9607）に定められた方法で試験したときの冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しております。

記号	✳*** フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	-18℃以下
冷凍食品貯蔵期間の目安	約3ヶ月

■JISの試験方法

①冷蔵室内温度が、0℃以下とならない範囲で最も低い温度になるように温度調節ダイヤルを調節して試験します。
②冷蔵庫の据え付け場所の温度は15～30℃の範囲を基準としています。
③冷凍室定格内容積100L当たり4.5kg以上の食品を24時間以内に-18℃以下に凍結できる冷凍室をフォースター室としています。

■冷凍食品の保存期間

冷凍食品の保存期間は、食品の種類、店頭での保存状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なります。表の期間は一応の目安です。

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げ日から本体1年間
（ただし、冷媒循環回路（圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管・配管）は、5年間です。）

修理を依頼されるとき

15ページの表に従ってご確認してください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。
なお、食品の補償等製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、冷蔵庫の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。（注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客さまご相談窓口

■まずは、お買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談
<お客さまセンター>

総合相談窓口：0120-865-812
受付時間　365日　9:00～18:30

※FAXでご相談される場合
お客さまセンター：0570-013-791
（ナビダイヤルでおつなぎします。全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。）

商品の修理サービスについてのご相談

修理相談窓口：0120-982-540
受付時間　月曜日 ～ 金曜日　9:00～18:30
　　　　　土曜・日曜・祝日　9:00～17:30

※上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

■"お客さまご相談窓口"における個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けしたお客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り第三者への開示は行いません。（業務委託の場合および法令に基づき、必要とされる場合を除く。）

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールジャパンセールス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。